

平成 23 年 3 月 31 日

各 位

日本証券業協会

国債取引の決済期間の短縮（アウトライト取引の T + 2 への移行）について

本協会では、我が国金融・資本市場の競争力強化には証券決済システムの一層の利便性の向上及びリスク管理の強化等が必要であることから、証券決済システム改革の主要課題である国債取引の決済期間の短縮化について、市場関係者と様々な課題の整理・検討を行って参りました。

今般、平成 22 年 12 月に取りまとめ・公表致しました「国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ」中間報告書の内容を踏まえ実務の詳細の検討を行った結果※、国債取引の決済期間の短縮（アウトライト取引の T + 3 から T + 2（売買約定日から起算して原則 3 営業日目の日に受渡し・決済を行う。）への移行）につきまして、その移行予定日を平成 24 年 4 月 23 日(月)（約定分）としましたので、お知らせ致します。

今後も引き続き、国債取引の決済期間の短縮に向けて、更なる検討を行っていく所存でございます。

※ 検討内容につきましては、今後、本協会ホームページ（<http://www.jsda.or.jp/>）において公表する予定です。

○ 本件に関するお問い合わせ先：市場企画部（電話：03-3667-8472）

以 上